観光地域づくり法人形成･確立計画

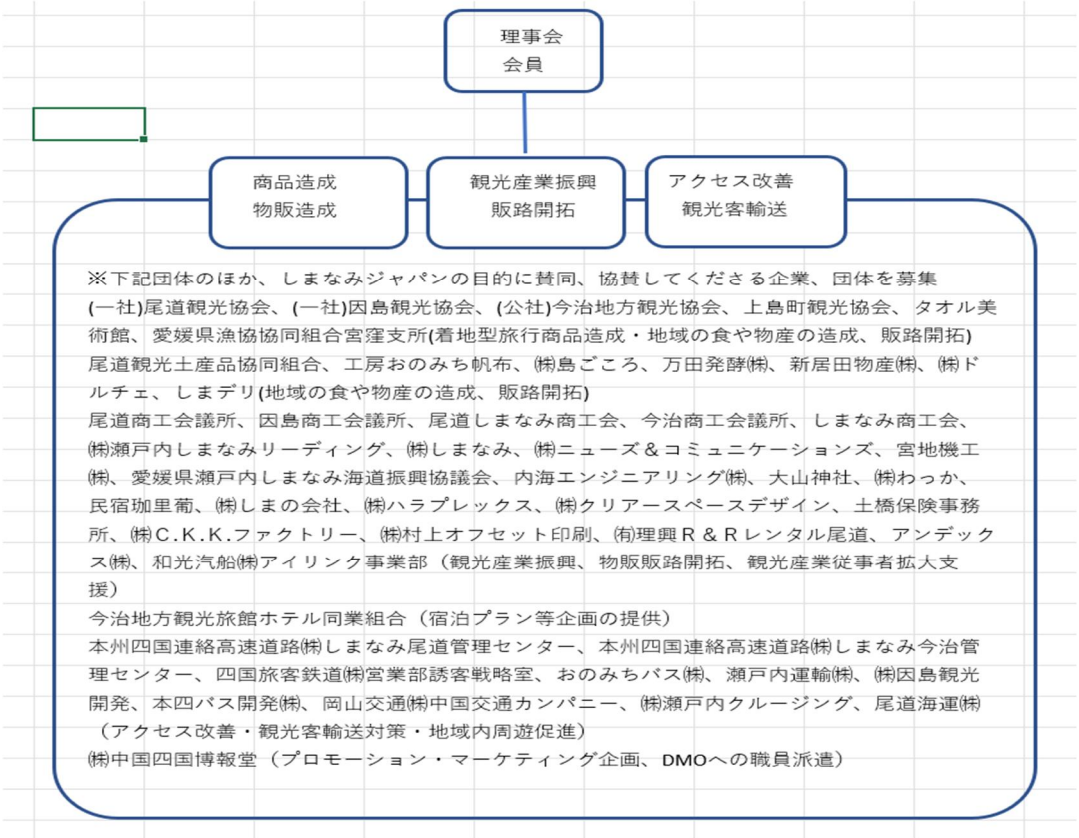
記入日：令和７年７月３１日

１．観光地域づくり法人の組織

申請区分 ※該当するものを〇で囲むこと	広域連携ＤＭＯ･地域連携ＤＭＯ･地域ＤＭＯ	
観光地域づくり法人の名称	（一社）しまなみジャパン	
マネジメント・マーケティング対象とする区域	区域を構成する地方公共団体名 愛媛県今治市、広島県尾道市、愛媛県上島町	
所在地	愛媛県今治市	
設立時期	平成２９年３月２２日	
事業年度	４月１日から翌年３月 31 日までの１年間	
職員数	１２人【常勤１２人（正職員８人・出向等４人）、非常勤０人】	
代表者（トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者） ※必ず記入すること	（氏名） 平谷　祐宏 （出身組織名） 尾道市	２００７年４月尾道市長に就任。瀬戸内しまなみ海道周辺地域の観光を担っていた任意団体「瀬戸内しまなみ海道振興協議会」（尾道市、今治市、上島町の行政、商工観光関連２２団体で構成）の会長に就任。サイクリングを核とした観光振興を展開し、瀬戸内しまなみ海道サイクリングを国内外に発信し、「サイクリストの聖地」としての地位を築いた。
データ分析に基づいたマーケティングに関する責任者（ＣＭＯ：チーフ・マーケティン	（氏名） 坂本　大蔵　「専従」 （出身組織名） 愛媛県	１９８０年愛媛県庁へ入庁。平成 23 年からはしまなみ海道のキラーコンテンツでもある「サイクリング」に係る自転車新文化の施策や普及・拡大に関わり、「サイクリングしまなみ 2014」の大会運営にも携わるなど、人的ネットワークも幅広く、企画力、プロモーション・マーケティングに高い知見と能力を持つ。

グ・オフィサー ※必ず記入すること		
財務責任者 （ＣＦＯ：チーフ・フィナンシャル・オフィサー） ※必ず記入すること	（氏名） 坂本　大蔵「専従」 （出身組織名） 愛媛県	１９８０年愛媛県庁へ入庁。平成 23 年からはしまなみ海道のキラーコンテンツでもある「サイクリング」に係る自転車新文化の施策や普及・拡大に関わり、「サイクリングしまなみ 2014」の大会運営にも携わるなど、人的ネットワークも幅広く、企画力、プロモーション・マーケティングに高い知見と能力を持つ。
各部門（例：プロモーション）の責任者（専門人材） ※各部門責任者のうち専従の者については、氏名の右横に「専従」と記入すること	氏名） 坂本　大蔵「専従」 （出身組織名） 愛媛県	１９８０年愛媛県庁へ入庁。平成 23 年からはしまなみ海道のキラーコンテンツでもある「サイクリング」に係る自転車新文化の施策や普及・拡大に関わり、「サイクリングしまなみ 2014」の大会運営にも携わるなど、人的ネットワークも幅広く、企画力、プロモーション・マーケティングに高い知見と能力を持つ。
各部門（例：旅行商品の造成･販売）の責任者（専門人材）	（氏名） 坂本　大蔵 （出身組織名） 愛媛県	１９８０年愛媛県庁へ入庁。平成 23 年からはしまなみ海道のキラーコンテンツでもある「サイクリング」に係る自転車新文化の施策や普及・拡大に関わり、「サイクリングしまなみ 2014」の大会運営にも携わるなど、人的ネットワークも幅広く、企画力、プロモーション・マーケティングに高い知見と能力を持つ。
連携する地方公共団体の担当部署名及び役割	広島県尾道市観光課（プロモーション・マーケティング・社会資本整備） 愛媛県今治市観光課、サイクルシティ推進課 （プロモーション・マーケティング・社会資本整備） 愛媛県上島町観光戦略課（プロモーション・マーケティング・社会資本整備）	

様式１

連携する事業者名及び役割	（一社）尾道観光協会、（一社）因島観光協会、（公社）今治地方観光協会、上島町観光協会、タオル美術館、愛媛県漁協協同組合宮窪支所（着地型旅行商品造成・地域の食や物産の造成、販路開拓） 尾道観光土産品協同組合、工房おのみち帆布、㈱島ごころ、万田発酵㈱、新居田物産㈱、㈱ドルチェ、しまデリ（地域の食や物産の造成、販路開拓） 尾道商工会議所、因島商工会議所、尾道しまなみ商工会、今治商工会議所、しまなみ商工会、㈱瀬戸内しまなみリーディング、㈱しまなみ、㈱ニューズ＆コミュニケーションズ、宮地機工㈱、愛媛県瀬戸内しまなみ海道振興協議会、内海エンジニアリング㈱、大山神社、㈱わっか、民宿珈里葡、㈱しまの会社、㈱ハラプレックス、㈱クリアースペースデザイン、土橋保険事務所、㈱Ｃ．Ｋ．Ｋ．ファクトリー、㈱村上オフセット印刷、㈲理興Ｒ＆Ｒレンタル尾道、アンデックス㈱、和光汽船㈱アイリンク事業部（観光産業振興、物販販路開拓、観光産業従事者拡大支援） 今治地方観光旅館ホテル同業組合（宿泊プラン等企画の提供） 本州四国連絡高速道路㈱しまなみ尾道管理センター、本州四国連絡高速道路㈱しまなみ今治管理センター、四国旅客鉄道㈱営業部誘客戦略室、おのみちバス㈱、瀬戸内運輸㈱、㈱因島観光開発、本四バス開発㈱、岡山交通㈱中国交通カンパニー、㈱瀬戸内クルージング、尾道海運㈱（アクセス改善・観光客輸送対策・地域内周遊促進） ㈱中国四国博報堂（プロモーション・マーケティング企画、DMO への職員派遣） ㈱ＪＴＢ（旅行商品開発及び販売コンサルティング、DMO への職員派遣）
官民･産業間･地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み	（概要） 地方自治体及び観光関係団体が、本法人の理事会において理事として参画し、法人の活動方針等の意思決定に関与。また、会員制度を導入し、会員である事業者と戦略を共有観光ビジネスセッションを開催しながら、DMO の取り組みに関する連絡調整、事業展開を行う。 ※しまなみ観光推進会議組織イメージ 

様式１

地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組	定期的に、会員をはじめ、活動エリア内外の地域住民も含めた一般参加型の事業発表会・ビジネスセッションを開催
法人のこれまでの活動実績	**【活動の概要】** DMO 組織「(一社）しまなみジャパン」の前身母体であるしまなみ海道地域の観光振興事業を展開していた「瀬戸内しまなみ海道振興協議会（地域関係 22 団体構成による任意協議会)」として平成１９年度より次の取り組みを実施している。 ・ホームページの管理運営 ・サイクリングＰＲ事業 （１） サイクリング関連イベントへの出展 （２） しまなみ縦走（イベントの開催） ・レンタサイクル利用促進事業 （１）レンタサイクルの利用促進のためのマップ等の作成 ・観光宣伝事業 （１）観光宣伝素材の作成 （２）ツーリズムＥＸＰＯジャパン等観光展への出展 （３）情報誌への掲載 ・海外誘客促進事業 （１）日台姉妹自転車道交流事業 （２）海外プロモーション事業 （３）しまなみ海道・やまなみ街道連携事業 ※しまなみ海道沿線に点在する文化資源（芸予諸島、尾道水道、村上海賊等）を自転車で巡るサイクルツーリズムの推進。自転車道通行料金の無料化、広域レンタサイクル制度の取り組みなど。 ※姉妹自転車道協定（瀬戸内しまなみ海道×台湾・日月潭） 瀬戸内しまなみ海道と海外トップレベルの台湾自転車道との姉妹協定の締結により、しまなみ海道を日本を代表する「サイクリストの聖地」として世界に情報発信 ※しまなみ海道サイクリングロードは、自転車活用推進本部において、第１次ナショナルサイクルルートに指定された。 ※メディアでの掲載情報（抜粋） ・日本経済新聞 NIKKEI プラス１なんでもランキング「国内のおすすめサイクリングコース」１位にランキング（平成 22 年 8 月） ・「ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン」改訂第３版に「しまなみ海道」が一つ星で掲載（平成 25 年 2 月） ・CNN（アメリカ合衆国ニュース専門放送局）で「世界で最も素晴らしい自転車道」の一つで紹介（平成 26 年 5 月） ・CNN「世界７大サイクリングコース」の一つで紹介（平成 26 年 6 月） ・ロンリープラネット社発行「EPIC BIKE RIDES OF THE WORLD」に世界で魅力的な５０のサイクリングルートで掲載（平成 28 年 8 月） ・楽天トラベル「サイクリストに人気の旅行先ランキング」で１位にランキング（平成 28 年・29 年） ・The New York Times(ニューヨーク・タイムズ)」の電子版で、「52 Places to Go in 2019（2019 年に行くべき 52 か所)」が発表され、日本で唯一「瀬戸内の島々」が７番目でリスト入りした。(令和元年１月） ・スポーツ文化ツーリズムアワード 2016」大賞受賞（初開催）

スポーツ庁、文化庁、観光庁が、スポーツと文化資源を組み合わせた全国の観光振興の取り組みを表彰する「スポーツ文化ツーリズムアワード 2016」において、瀬戸内しまなみ海道振興協議会の「サイクリストの聖地「瀬戸内しまなみ海道」を核としたサイクルツーリズム」が大賞を受賞。
・ジャパントラベルアワード２０２３のアドベンチャー部門で特別賞を受賞
「観光×ダイバシティ」をテーマにした JAPAN TRAVEL AWARDS にしまなみ海道サイクリングとして応募し、幅広く多様なニーズに対応していることが評価されました。

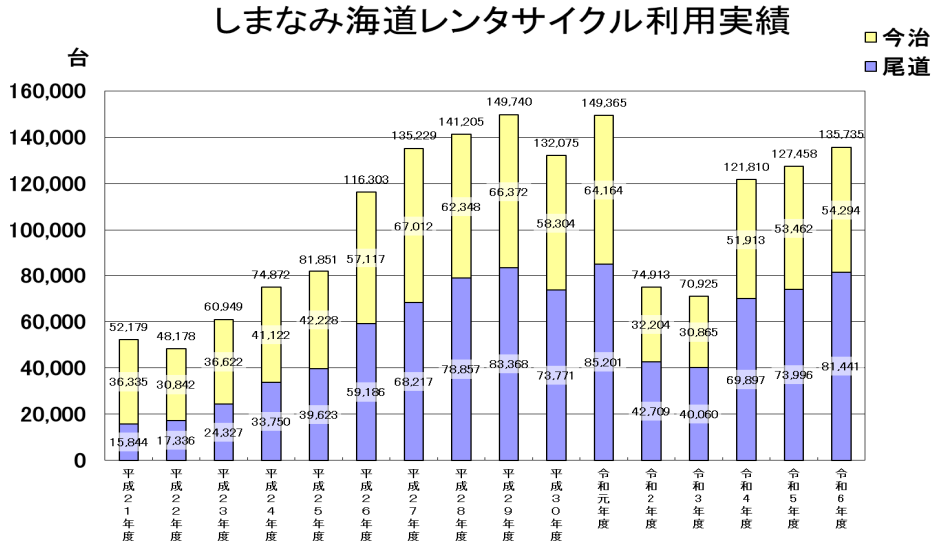
事業	実施概要
情報発信・プロモーション	１．観光ＰＲ事業 《事業概要》 瀬戸内しまなみ海道地域の観光情報を広域的かつ効果的に発信するため、瀬戸内しまなみ海道観光パンフレット「SHIMAP」を全面改訂し「しまなみＳＰＯＴ！」にリニューアル、ホームページによる情報発信などを行い、観光宣伝素材の充実を図る。また、世界最大級の旅の祭典「ツーリズム EXPO」へ出展し、瀬戸内しまなみ海道地域の宣伝及び誘客促進を図る。 （１）観光宣伝素材の作成 観光パンフレットＳＨＩＭＡＰを全面改訂し、「しまなみＳＰＯＴ！」としてリニューアルした。 ※サイクリングマップの情報更新および増刷 （２）しまなみジャパン公式ＨＰ情報発信 しまなみ海道の観光スポット、体験メニュー、イベント、宿泊施設情報・レンタサイクル等の情報発信 （３）しまなみ海道塔頂体験ツアー 主催：ＪＢ本四高速しまなみ尾道管理センター、ＪＢ本四高速しまなみ今治管理センター、一般社団法人しまなみジャパン （４）夏休み親と子の多々羅大橋体験セミナー 主催：ＪＢ本四高速しまなみ尾道管理センター、ＪＢ本四高速しまなみ今治管理センター、一般社団法人しまなみジャパン （５）ツーリズム EXPO ジャパンへの出展 （６）しまなみ・ゆめしま海道体験記制作 （７）英語版公式サイト制作 ２．サイクリングＰＲ事業 《事業概要》 近年の健康・環境ブームの高まりと観光ニーズの多様化に伴い、本州四国連絡高速道路株式会社等の関係団体と連携しながら、サイクリングコースとしての瀬戸内しまなみ海道に関する情報発信を積極的に行い、しまなみ海道地域の資源を活かした観光振興と交流促進による地域の活性化を図る。 （１）「しまなみ周遊ラリー」の開催 主催：ＪＢ本四高速しまなみ尾道管理センター、ＪＢ本四高速しまなみ今治管理センター、一般社団法人しまなみジャパン （２）「シマノ鈴鹿ロードレース」出展 （３）しまなみ縦走の開催 主催：ＪＢ本四高速しまなみ尾道管理センター、ＪＢ本四高速しまなみ今治管理センター、一般社団法人しまなみジャパン （４）「しまなみサイクリングフェス 2020 サイクルロゲイニング in しまなみ・ゆめしま海道」の実施 ３．海外誘客促進事業 《事業概要》 台湾有数のサイクリングコース日月潭との姉妹自転車道協定を契機とした日台姉妹自転車道交流事業、海外でのプロモーション活動、観光・サイクリン

			グ訪問団体の受入支援等の実施により、しまなみ海道の知名度向上及び海外からの誘客を促進し、新規来訪者及びリピーターの獲得を目指す。 （１）日台姉妹自転車道交流事業 瀬戸内しまなみ海道サイクリングコースと台湾の日月潭サイクリングコースとの姉妹自転車道協定を契機とした施策的・技術的な情報収集及び交換会等を行う。 （２）海外プロモーション事業 　海外からの観光客の来訪を促進するため、現地からの旅行エージェント、ＦＩＴ（個人旅行者）をターゲットとした、影響力のあるYoutuber、ブロガー招請などＳＮＳを活用した、世界への情報発信を行う。 **しまなみ海道・やまなみ街道連携事業** やまなみ街道が全線開通したことを契機に、やまなみ街道としまなみ海道を軸とした松江市・尾道市・今治市の３市連携で台湾をターゲットとしたインバウンド事業を実施する。「しまなみ・やまなみルート」を一体的にＰＲし、認知度向上と広域での誘客促進を図る。 **サイクリング・ゴールデンルートＰＲ事業**【平成３０年度から】 国内の人気サイクリングロード“びわ湖一周サイクリング～ビワイチ～”を有する守山市、国際ロードレースからサイクリングイベントなど幅広い層が楽しめる「ツール・ド・沖縄」を開催し、リゾート地としても国際的にも認知度の高い名護市と連携して、サイクリング・ゴールデンルートとしてＰＲ動画制作し広報媒体への拡散を図る。 **欧州プロモーション事業**【平成３０年度から】 欧州のスポーツレジャー紙の取材・記事掲載によるしまなみサイクルツーリズムのＰＲ。 **しまなみブルー　インバウンド対策事業**【平成３０年度から】 　＜外国人向け情報マップ（英語版）＞ 英語圏の外国人旅行者のために、“外国人による外国人旅行者のための使える情報”をテーマとして、しまなみ・ゆめしま海道の情報MAPを制作。 ＜しまなみジャパン公式Facebook（英語版）＞ 記事投稿：契約期間中、週1～2回投稿。言語は英語のみで、コメントやレビューへのレスポンス対応も実施。 ＜しまなみジャパン公式Instagram（英語版）＞ 記事投稿：契約期間中、週1～2回投稿。言語は英語のみで、フォロワー数確保のためのアウトリーチ対応も実施。 **ＶＪ連携事業** 国・県が実施するしまなみ海道の観光及びサイクリングを目的とした米豪、フランス、アジア圏（台湾・香港・タイ・中国・韓国）の訪日外国人団体旅行客等を対象とした事業（ＶＪ事業）への連携・協力を図る。 海外メディア・旅行社招聘事業 ＪＮＴＯ等と連携し、海外メディアやしまなみ海道を旅行商品として検討する海外の旅行社等を一部費用負担しながら、招聘誘致し、しまなみサイクリングロードを含めた地域の魅力を積極的にＰＲし、海外誘客を拡大・促進させる。 繁体語圏へのPR事業 台湾を中心とした東アジア圏に向けて訪日外国人観光客向けWEBマガジン「MATCHA」とタイアップし、しまなみ海道の情報発信を行った。（繁体字･簡体字･タイ語･英語･日本語）

		バンコク日本博での PR 事業 タイ王国の首都バンコクで開催された「バンコク日本博 2023」に出展。 2023 年度上半期の訪日タイ人は、50 万人で訪タイ日本人を初めて上回ったことから、富裕層を中心にサイクリングブームが起きているニュースをつかみ、バンコク日本博に 2023・2024 年度と出展ししまなみ・ゆめしま海道の PR を行った。
	受入環境の整備	４．マーケティング事業 《事業概要》 瀬戸内しまなみ海道地域の活性化に繋がるデータ収集、社会実験、調査研究を実施する。 （１）マーケティング調査 しまなみ海道の魅力向上、入込観光客の増大、観光消費額の増加、リピーター率の向上を目的とし、ＫＰＩの要素の抽出からＰＤＣＡサイクルを回すため、定量調査及び定性調査の様々なアプローチによる実態を把握する調査（例：非来訪者調査（インターネット調査)、非サイクリスト調査、定性調査等）を実施する。 （２）滞在型観光促進調査事業 ①ホテル・パーキング調査事業 ②しまなみ絶景ウェディング事業 ③しまなみ食のブランディング調査事業 ④レンタサイクルを基軸としたしまなみ海道活性化事業 2016 年に文化庁より日本遺産に認定された「村上海賊」をモチーフとした「海賊むすび」を企画。「三角」「三種」「三方よし」を“海賊むすびの心得”として、地域の飲食店等での販売を展開。２０１８年４月２５日にスタートし、公式 HP、YouTube などで情報発信し、加盟店舗を随時募集しながら、新たな“しまなみ海道名物”の食として PR を図る。加盟店舗には、ポスター、のぼり、しおり等の販促ツールを配布。 2021 年度には海賊むすびレシピ投稿キャンペーンを実施し、約 200 レシピの投稿があり、最優秀賞のレシピは本四高速大浜 PA･瀬戸田 PA にてメニュー化し、実際に販売を行った。 ※令和 7 年３月末現在のしまなみ海道沿線の 18 店舗で海賊おむすびを販売中。 （３）調査視察等受け入れ事業 サイクルツーリズムやＤＭＯの組成を検討する自治体や関連団体からの視察は、年々増加しており、今後も多くの交流が見込まれ、経済効果や地域の活性化など 多大なメリットを持つため、これらの継続的な受け入れを図る。 ５．レンタサイクル事業 《事業概要》 2022 年４月よりしまなみ海道レンタサイクル（尾道市側）の運営と今治市側レンタサイクルの運営を統合、レンタサイクル事業を実施している。安心・安全、サービスの改善、拡充などの利便性向上、利用促進に向けたＰＲ、ソフト面の充実などの取り組みを推進する。 軽快車・クロスバイクだけではなく、電動アシスト自転車・E-BIKE の保有台数を多くすることで、より手軽に、幅広い層がサイクリングを楽しめるようにしている。 2024 年度からは、インバウンド対応として、長身長の外国人に対応ができる大きいサイズのレンタサイクルを保有している。 ６．レンタサイクルを基軸としたしまなみ海道活性化事業

		《事業概要》 レンタサイクル利用者の旅マエから旅ナカにおける情報提供や予約システムの DX 化、デジタル決済の導入により、利便性を向上させるとともに、旅アトの満足度・推奨度向上につながる仕組みを作りだし、地域の周遊促進やリピーターの再訪を促す。
観光資源の磨き上げ	観光資源の磨き上げ	（１）地域コンテンツ販売促進システム構築事業 しまなみジャパン公式ＨＰに豊富な地域コンテンツ（宿泊施設、体験メニューなど）を集約紹介するより、地域事業者の販売促進に繋げる。 ※令和７年６月末現在、登録数：手作り体験など 109 プラン （２）しまなみブル―プロジェクト商品開発事業【平成３０年度から】 ３つの特徴的な市町を“しまなみ・ゆめしま海道”という一つのくくりで捉えてブランド化するためのコンセプトワード『SHIMANAMI BLUE』。この新しい考え方のもとに地域を活性化させる具体的な施策を展開する。SHIMANAMI BLUE PROJECT 第一弾として、来訪者が来訪の記念に購入できる商品を複数のカテゴリーで開発。カテゴリーは、「T シャツ」「タオル」「サコッシュ」等。それぞれのカテゴリーごとに SHIMANAMI BLUE のブランドイメージとターゲット視点でのトーン＆マナーを踏襲したデザインコンセプトで商品を開発し当該エリアにて限定で販売を行う。そして、今回開発した商品の販売状況をマーケティングデータとして活用し、PDCA を回しながら新たな商品開発と販売促進につなげていく。最終的には、当該エリアで展開している企業・団体・店舗の売上拡大に寄与する。2021 年度サイクルジャージ、サイクルキャップ、アームカバーを新商品として開発し販売。2024 年度は、定番になりつつある「SHUMANAMI　BLUE LINE」（T シャツ）の新色と今治タオルハンカチの新作を制作。新たな試みとして季節商品のオリジナルデザイン「クールリング」を制作。

【定量的な評価】



■２０２４年度（括弧は２０２３年度）実績

（尾　道）
全　体：81,441（73,996）　前年比 110.0%
外国人：32,800（22,883）　前年比 143.3%　※40.2%(2024 外国人割合)
（今　治）
全　体：54,294（53,462）　前年比 101.5%
外国人：10,881（ 6,795）　前年比 610.51%　※20.0%(2024 外国人割合)
（合　計）
全　体：135,735（127,458）前年比 106.4%
外国人： 43,681（ 29,678）前年比 599.67%　※32.1%(2024 外国人割合)

■地域別　（2024年度実績97,780台）※2024年度　尾道・今治の合計値

地域名	割　合	参考(2023年度97,780台)	
関東地方	３９．１%	関東地方	３９．０%
近畿地方	２５．５%	近畿地方	２６．５%
中国地方	１０．５%	中国地方	１０．６%
四国地方	９．７%	四国地方	１０．３%
中部地方	９．３%	中部地方	８．１%
九州地方	３．４%	九州地方	３．２%
北海道・東北地方	２．４%	北海道・東北地方	２．２%

実施体制
※地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること（別添可）。

○海外からの利用ＴＯＰ１０（2024年度実績43,681台）

国　名	割　合	参考(2023年度実績29,678台)	
アメリカ合衆国	１３．８%	アメリカ合衆国	１３．４%
オーストラリア	９．８%	オーストラリア	９．２%
フランス	９．２%	フランス	８．７%
台湾	９．０%	イギリス	８．５%
ドイツ	７．９%	ドイツ	８．３%
イギリス	７．６%	台湾	８．２%
中国	５．８%	カナダ	５．８%
カナダ	５．６%	オランダ	４．６%
オランダ	４．８%	中国	３．４%
スイス	２．７%	スイス	２．９%

【実施体制の概要】
（実施体制の概要）
一般社団法人しまなみジャパンが中心となり、しまなみ海道エリアにおけるマーケティング・プロモーション・イベント事業・レンタサイクル事業を中心に展開する。
国内外の多くの人に来訪される地域となるために、エリア全体のマーケティング調査による戦略のもと、マネジメントを民間事業者と協働しながら観光産業振興を図る日本版ＤＭＯ組織として実施する。

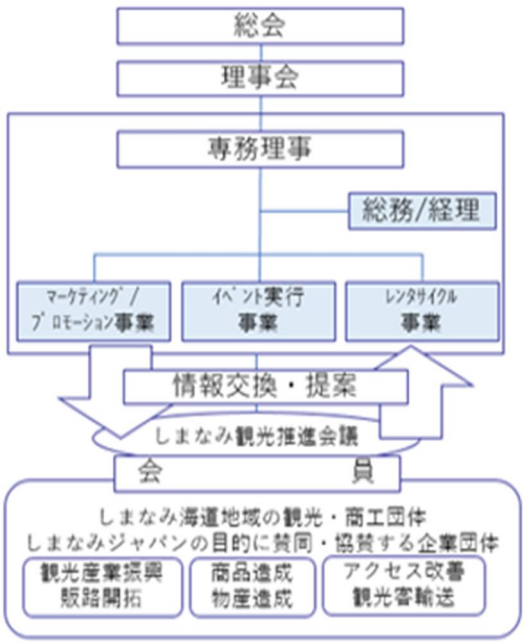
プロモーション・マーケティング部門、イベント実行部門、レンタサイクル部門を事業の柱として設置し、組織をマネジメントする人材（専務理事）を登用している。

スタッフは、尾道市、今治市、㈱ＪＴＢ、㈱中国四国博報堂からの派遣、レンタサイクル従事の職員、経理担当職員、専務理事を含めて１２名体制で事業の実務を行っている。

【実施体制図】

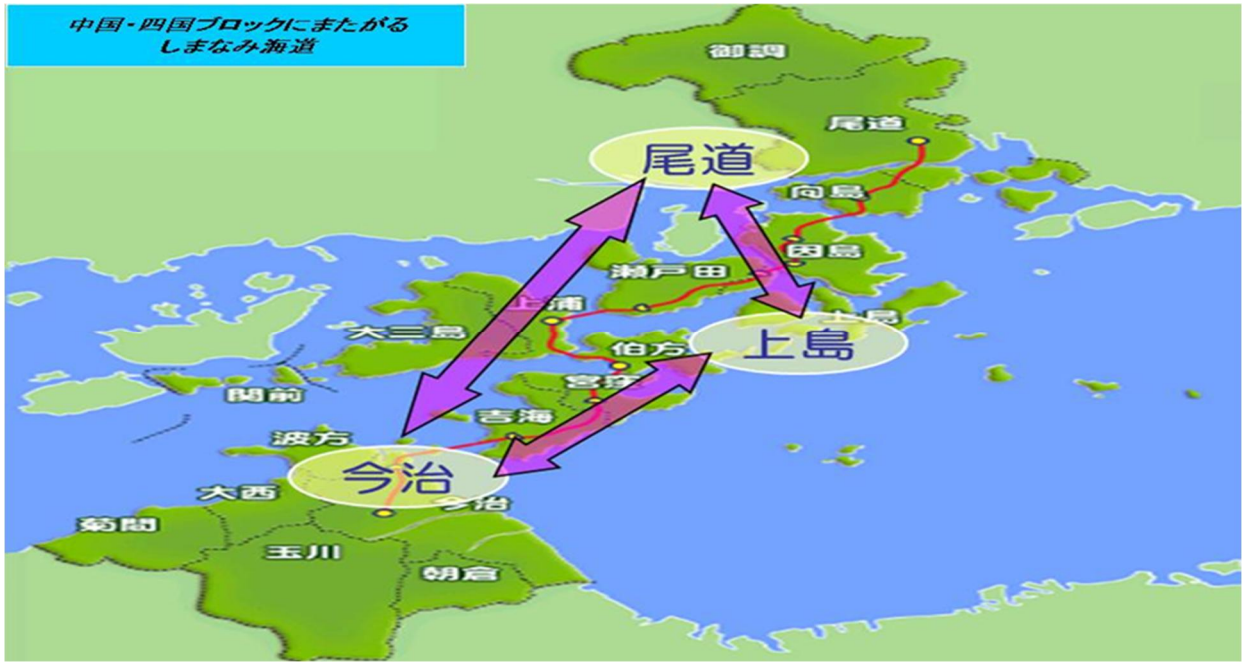
<法人の概要>

項目	内容		
商号	一般社団法人　しまなみジャパン		
所在地	今治市別宮町1丁目４－１　今治市民会館３Ｆ		
理事	理事長	平谷　祐宏	(尾道市長)
	副理事長	徳永　繁樹	(今治市長)
	副理事長	上村　俊之	(上島町長)
	専務理事	坂本　大蔵	(元愛媛県職員)
	理事	内海　直子	(尾道市産業部長)
	理事	冨田　義勝	(今治市総合政策部長)
	理事	田房　良和	(上島町総務部長)
	理事	岡田　正弘	(一社)尾道観光協会
	理事	岡野　憲明	(一社)因島観光協会
	理事	山﨑　昭二	(公社)今治地方観光協会
	理事	今井　裕和	上島町観光協会
監事	監事	瀬尾　暁史	(瀬尾税理士事務所)
従業員数	12名（内　行政出向者2名、民間出向者2名）		
事業内容	マーケティング/プロモーション事業		
	イベント実行事業		
	レンタサイクル事業等		



様式１

【区域の範囲が分かる図表を挿入】
区域：広島県尾道市、愛媛県今治市、上島町）

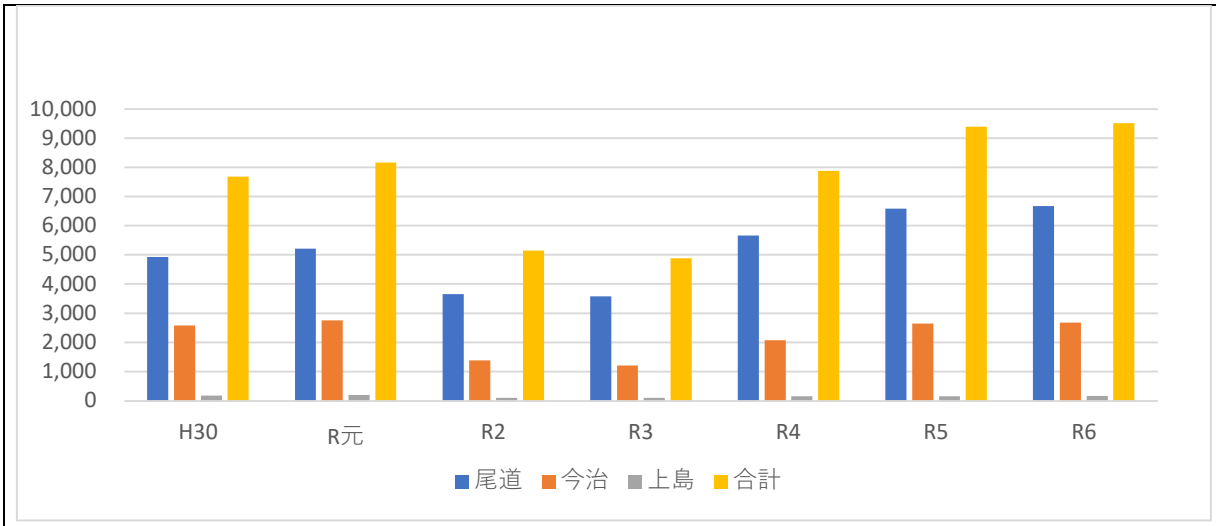


※参考：広域観光周遊ルート形成計画（認定）位置図

【区域設定の考え方】
平成１９年度より、前身団体である「瀬戸内しまなみ海道周辺地域振興協議会」と「瀬戸内しまなみ海道観光推進協議会」が統合し設立した、DMO 組織・一般社団法人しまなみジャパンの前身母体となる「瀬戸内しまなみ海道振興協議会」は、区域を構成する地方公共団体と商工観光関連団体で組織しており、国内外のサイクリングを中心としたプロモーションを中心に取組を実施してきました。
　当地域は、しまなみエリアのキラーコンテンツであるサイクリングをはじめ、日本遺産・村上海賊をはじめとした歴史・文化コンテンツなど共通の資源を共有し、地域の関係自治体、観光関連事業者による事業連携が継続されており、戦略的マネジメント・マーケティング機能をベースとしたＤＭＯにより、更なる地域間・政策間連携、官民連携、業者間連携が強化された事業展開が期待できる。また、インバウンド対策を含め国が設定している全国の広域観光周遊ルート形成計画において「せとうち・海の道」が選定されており、瀬戸内しまなみ海道地域はその中で重点エリアとなっている。こういった背景から、当該市町で連携した区域設定とするのが適切と考えている。

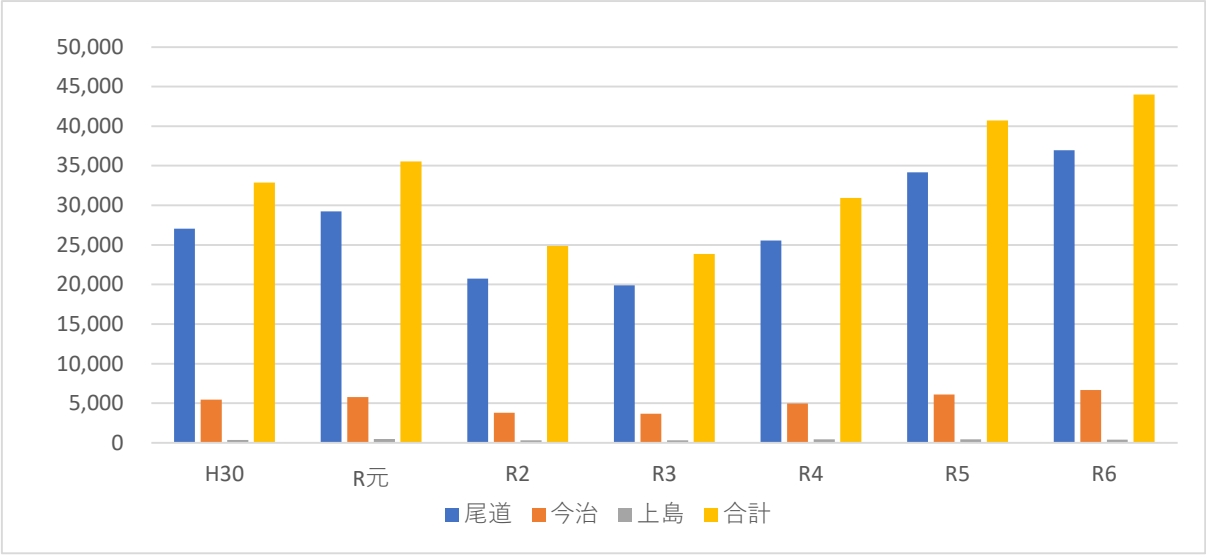
【観光客の実態等】
※設定区域における観光客入込客数、延べ宿泊者数、消費額等を踏まえて記入すること。
入込観光客数

様式１



入込観光客数（千人）

	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R6
尾道	4,923	5,216	3,654	3,576	5,657	6,583	6,675
今治	2,579	2,756	1,386	1,212	2,073	2,649	2,676
上島	179	194	101	94	153	157	164
合計	7,681	8,166	5,141	4,882	7,883	9,389	9,515



観光消費額（百万円）

	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R 6
尾道	27,050	29,243	20,724	19,884	25,536	34,151	36,948
今治	5,450	5,777	3,807	3,658	4,950	6,107	6,651
上島	375	496	338	317	449	434	395
合計	32,875	35,516	24,869	23,859	30,935	40,692	43,994

様式１

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】
瀬戸内しまなみ海道、尾道の町並み、村上海賊、大山祇神社、レモンなどの柑橘類、尾道ラーメン、今治タオル、今治焼豚玉子飯など全国的にも認知度の高い資源を持つ。
また、サイクリストの聖地として、国際サイクリング大会「サイクリングしまなみ」をはじめとするサイクリングイベント、トライアスロンなどのスポーツイベントが域内で開催されている。
〇尾道地区
・千光寺公園：市街地・尾道水道・瀬戸内海の眺望、日本さくら名所百選、恋人の聖地、頂上展望台（PEAK）をリニューアル。
・古寺めぐり：市街地に佇む２５の寺を石畳で結ぶ散策ルート
・おのみち映画史料館：小津安二郎監督不朽の名作「東京物語」など数多くの映画の舞台となった尾道ゆかりの映画資料を展示
・日本遺産「尾道水道が紡いだ中世からの箱庭的都市」（平成２７年度認定）：尾道三山と対岸の島に囲まれた尾道は、町の中心を通る「海の川」とも言うべき尾道水道の恵みによって、中世の開港以来、瀬戸内随一の良港として繁栄し、人・もの・財が集積した。その結果、尾道三山と尾道水道の間の限られた生活空間に多くの寺社や庭園、住宅が造られ、それらを結ぶ入り組んだ路地・坂道とともに中世から近代の趣を今に残す箱庭的都市が生み出された。迷路に迷い込んだかのような路地や、坂道を抜けた先に突如として広がる風景は、限られた空間ながら実に様々な顔を見せ、今も昔も多くの人を惹きつけてやまない。
・御調ふれあいの里：天然温泉と美しい山並みに豊かな自然。憩いと健康の場
・「道の駅」クロスロードみつぎ：尾道自動車道の尾道北 IC からアクセスも良く、地域交流の拠点として、地元の農作物・野菜・加工品を厳選
〇向島地区
・国立公園高見山：標高２８３ｍからの瀬戸内海の多島美
・向島洋らんセンター：多種の洋ラン展示、憩いの広場
・尾道市マリンユースセンター：オートキャンプ、マリンスポーツ体験
〇因島地区
・白滝山：五百羅漢、瀬戸内海の多島美の風景は「にほんの里 100 選」に認定
・水軍城：日本唯一の水軍城、村上海賊の資料展示
・本因坊秀策囲碁記念館：因島出身の天才棋士の生家復元、貴重な歴史資料展示
〇瀬戸田地区
・耕三寺・耕三寺博物館：極楽浄土を彷彿とさせる境内、美術品展示、桜・紅葉の名所
・平山郁夫美術館：日本画家平山郁夫の絵画、資料展示
・向上寺三重塔：国宝
・瀬戸田サンセットビーチ：中国地方屈指の 800mにわたる白い砂浜と青い海の海水浴場。キャンプ、シーカヤック等のマリンスポーツの拠点
・島ごと美術館：著名な美術評論家推薦による野外彫刻を作家自身が設置場所を選び、そこをイメージして作られた１７の作品
〇今治地区
・来島海峡大橋：世界初の三連吊橋
・のまうまハイランド：日本最少の在来馬「野間馬」の乗馬などを楽しめるファミリーパーク
・今治城：全国的にも珍しい海水を引き込んだ海岸平城。燧灘を一望できる今治のランドマーク
・タオル美術館：タオルをテーマとした美術館
・鈍川温泉：伊予の三湯に数えられ、清らかな渓谷に佇む
・かわら館：750 年におよぶ菊間瓦の歴史と伝統に関する展示
〇大島地区
・村上海賊ミュージアム：村上海賊の歴史資料展示
・宮窪瀬戸潮流体験：最大 10 ノットの潮流を体感
・亀老山展望公園：標高 301.1mからの瀬戸内海の多島美、来島海峡が一望
・「道の駅」よしうみいきいき館：日本三大急潮「来島海峡」の急流観潮体験、新鮮な魚介類等の販売
・よしうみバラ公園：世界各国のバラ約 400 種 3500 株を有する四国最大級のバラ園

○伯方島地区
・開山公園：瀬戸内海の多島美、桜の名所
・「道の駅」伯方Ｓ・Ｃパーク：ビーチや公園、体育館、テニスコートが整備され、特産品、地元の柑橘類等の販売、レストラン
・ドルフィンパークしまなみ：イルカとハナゴンドウと触れ合える施設
○大三島地区
・大山祇神社：日本総鎮守と呼ばれ、国宝・重要文化財が多数展示
・「道の駅」多々羅しまなみ公園：多々羅大橋のたもと、瀬戸内海が一望、地域特産品販売
・マーレ・グラッシア大三島：海水温浴、夕日と汐の香が楽しめる露店風呂、瀬戸内の幸を使用した料理を味わうレストランといったリラクゼーション施設
・伊東豊雄建築ミュージアム：世界中から注目を集めている伊東豊雄氏の日本初の建築ミュージアム。施設自体が作品
・ところミュージアム大三島：国内外のアーティスト作品を展示するアート美術館。館内から瀬戸内海の多島美が望める。

○上島町地区
・海水温浴施設「潮湯」：海水を利用した自然療法ができる施設
・松原海水浴場：環境省「快水浴場百選」選定
・積善山：桜の名所、３千本の桜並木
・岩城郷土館：島本陣跡
・岩城橋
○日本遺産
・尾道水道が紡いだ中世からの箱庭的都市（平成２７年度認定　尾道市）
「尾道三山と対岸の島に囲まれた尾道は、町の中心を通る「海の川」とも言うべき尾道水道の恵みによって、中世の開港以来、瀬戸内随一の良港として繁栄し、人・もの・財が集積した。その結果、尾道三山と尾道水道の間の限られた生活空間に多くの寺社や庭園、住宅が造られ、それらを結ぶ入り組んだ路地・坂道とともに中世から近代の趣を今に残す箱庭的都市が生み出された。迷路に迷い込んだかのような路地や、坂道を抜けた先に突如として広がる風景は、限られた空間ながら実に様々な顔を見せ、今も昔も多くの人を惹きつけてやまない。」
・“日本最大の海賊”の本拠地：芸予諸島－よみがえる村上海賊“Murakami KAIZOKU”の記憶－
（平成２８年度認定　尾道市・今治市共同申請）
「戦国時代、宣教師ルイス・フロイスをして“日本最大の海賊”と言わしめた「村上海賊」“Murakami KAIZOKU”。理不尽に船を襲い、金品を略奪する「海賊」（パイレーツ）とは対照的に、村上海賊は掟に従って航海の安全を保障し、瀬戸内海の交易・流通の秩序を支える海上活動を生業とした。その本拠地「芸(げい)予(よ)諸島(しょとう)」には、活動拠点として築いた「海(うみ)城(じろ)」群など、海賊たちの記憶が色濃く残っている。尾道(おのみち)・今治(いまばり)をつなぐ芸予諸島をゆけば、急流が渦巻くこの地の利を活かし、中世の瀬戸内海航路を支配した村上海賊の生きた姿を現代において体感できる。」
・“荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間　～北前船寄港地・船主集落～”
（平成３０年度追加認定　尾道市）
「日本海や瀬戸内海沿岸には、山を風景の一部に取り込む港町が点々とみられる。そこには、港に通じる小路が随所に走り、通りには広大な商家や豪壮な船主屋敷が建っている。また、社寺には奉納された船の絵馬や模型が残り、京など遠方に起源がある祭礼が行われ、節回しの似た民謡が唄われている。これらの港町は、荒波を越え、動く総合商社として巨万の富を生み、各地に繁栄をもたらした北前船の寄港地・船主集落で、時を重ねて彩られた異空間として今も人々を惹きつけてやまない。」
○サイクリストの聖地「瀬戸内しまなみ海道」
ナショナルサイクルルートしまなみ海道の絶景を舞台としたサイクリングイベントの開催
・瀬戸内しまなみ海道・国際サイクリング大会（愛媛・広島両県実行委員会）
・瀬戸内しまなみ・ゆめしま海道サイクリング大会（しまなみジャパン）
・しまなみ縦走（本四高速㈱・しまなみジャパン）

様式１

※観光資源の活用方法についても記入すること。
【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

【利便性：区域までの交通、域内交通】

尾道市（本州）側へのアクセス

・飛行機利用の場合

東京⇔広島　片道所要時間：約 1 時間 30 分

各地		広島空港	福山リムジンバス（約15分）	山陽自動車道 高坂BS（乗りかえ）	高速バス（約35分）	JR尾道駅
各地		広島空港	路線バス（約15分）	JR白市駅（乗りかえ）	山陽本線（約40分）	JR尾道駅

広島空港への発着空港

- 東京（羽田・成田）
- 札幌（新千歳）
- 仙台
- 沖縄（那覇）

・電車利用の場合

東京⇔福山　片道所要時間：最短・新幹線のぞみ　3 時間 40 分

新大阪⇔福山　片道所要時間：最短・新幹線のぞみ　1 時間 6 分

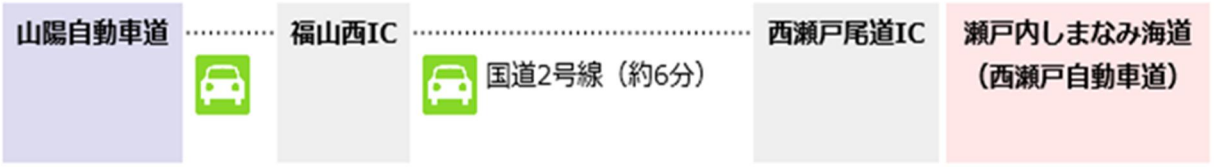
東京⇔岡山　片道所要時間：最短・新幹線のぞみ　3 時間 17 分

新大阪⇔岡山　片道所要時間：最短・新幹線のぞみ　45 分

新幹線	博多	広島	こだま 約30分	三原	こだま 約10分	新尾道	こだま 約13分	福山	新大阪	東京
在来線	博多	広島	約1時間10分	三原	約12分	尾道	約20分	福山		東京

・バス利用の場合

・車利用の場合
マイカーでのしまなみ海道最寄りインターへのアクセス例



今治市（四国）側へのアクセス

・飛行機利用の場合
東京⇔松山　片道所要時間：約 1 時間 35 分

松山空港への発着空港
東京（羽田・成田）、名古屋（中部）、福岡、鹿児島、沖縄（那覇）

・電車利用の場合

・バス利用の場合

・車利用の場合
マイカーでのしまなみ海道最寄りインターへのアクセス例

・船利用の場合

様式１

域内交通

・車で移動（しまなみ海道：西瀬戸自動車道）
西瀬戸尾道ＩＣ～今治ＩＣまで所要時間：約１時間

・航路利用（今治市、上島町）

・航路利用（尾道市）

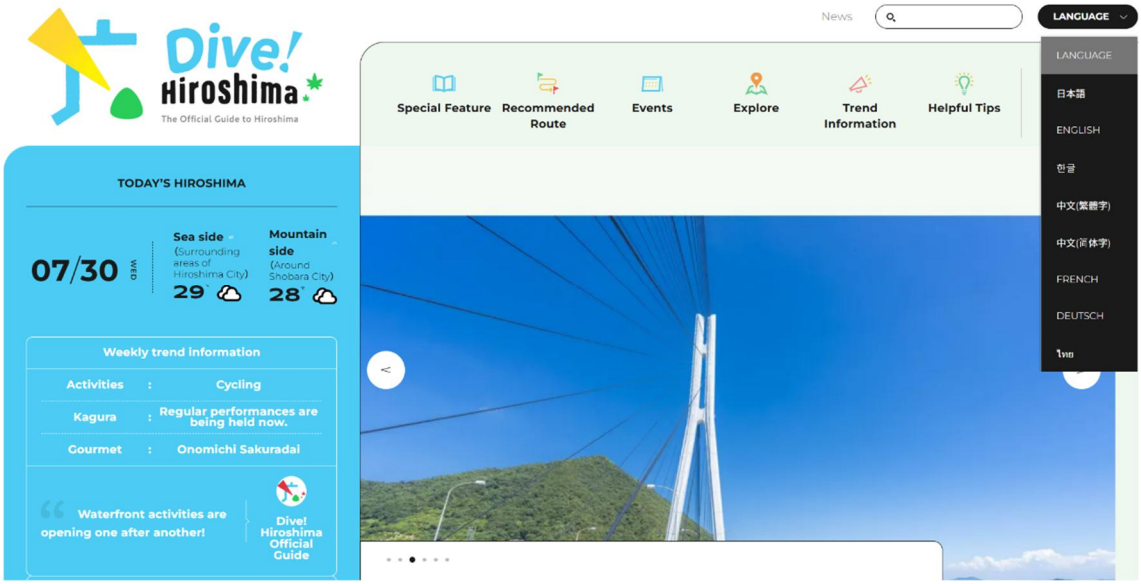
・バス利用

尾道 ⇔ 因島大橋 ⇔ 今治尾道 ⇔ 因島大橋（乗り継ぎ停留所） ⇔ 今治
福山 ⇔ 今治しまなみライナー
広島 ⇔ 今治しまなみライナー（予約制高速バス）

【外国人観光客への対応】
多言語対応Web サイトの運営

・しまなみジャパン公式ＨＰ（ＧＯ　ＳＨＩＭＡＮＡＭＩ）
※英語

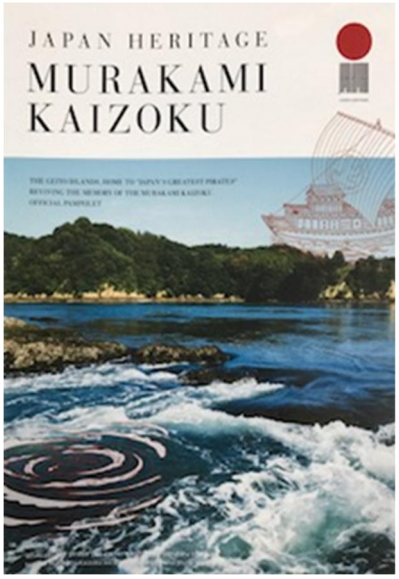
・おのなび（尾道観光サイト：（一社）尾道観光協会）
※英語・簡体字・ハングル・仏語



多言語パンフレットの作成
・サイクリングマップ
※英語・簡体字・繁体字・ハングル・仏語

様式１

・観光案内パンフレット
　※英語・簡体字・繁体字・ハングル・仏語
　尾道市・今治市・上島町・日本遺産等の各種パンフレット



・Ｗｉ Ｆｉ整備
尾道市 Wi-Fi フリースポット（公衆無線 LAN アクセスポイント）
尾道市内：３９箇所

Hiroshima Free Wi-Fi
尾道市内：１２箇所

尾道市では、地域の賑わい創出のため、主要な公共施設におきまして、Ｗｉ-Ｆｉフリースポット（公衆無線ＬＡＮアクセスポイント）の整備を推進しています。Ｗｉ-Ｆｉフリースポットでは、お手持ちの無線LAN端末（Ｗｉ-Ｆｉ）を搭載したスマートフォン、タブレット端末、パソコン等の機器を使って、無料でインターネットに接続することができます。

えひめ FreeWi-Fi
今治市内：１２２箇所　上島町内：２２箇所

・ＳＮＳ対応
しまなみジャパン英語版公式 Facebook＆インスタグラム “Visit Shimanami”

３．各種データ等の継続的な収集・分析		
収集するデータ	収集の目的	収集方法
ＷＥＢサイトのアクセス状況	地域に対する顧客の関心度や施策の効果等を把握するため。	自社の Web サイト（デジタルプラットフォーム）のアクセス状況を集計
観光客数	観光消費額の推計	各地点における通年調査
宿泊客数	事業効果測定、戦略の見直し 観光消費額の推計	宿泊施設への調査
外国人観光客数	事業効果測定、戦略の見直し	各地点における通年調査
サイクリング客数	事業効果測定、戦略の見直し	各地点における通年調査
来訪者満足度	事業効果測定、戦略の見直し	アンケート調査（Web、定点調査）

様式１

４．戦略

（１）地域における観光を取り巻く背景

※地域経済、社会等の状況を踏まえた観光地域づくりの背景

しまなみ海道周辺でも、人口減少が進んでおり、地域住民の高齢化等の影響で就業者や事業所が減少傾向にある。しかし、世界に誇るサイクリングロードからの絶景や、多くの来訪者を魅了しており、観光地域づくり法人（ＤＭＯ）が中心となって地域に埋もれている観光資源の活用や、新たなコンテンツ開発を加速し、観光地域づくりを促進することにより、稼げる観光を地域にも生み出し、新たな雇用の創出や担い手不足の解消、交流人口、関係人口の増加につなげることとしている。

（２）地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	強み（Strengths） ・自地域で積極的に活用できる強みは何か？ ●ナショナルサイクルルート ●自然と橋が織り成す世界に誇る景観 ●自転車で、歩いて渡れるしまなみ海道 ●サイクリストの聖地 ●歴史・文化的資源（日本遺産認定「尾道水道が紡いだ中世からの箱庭的都市」「村上海賊」） ●豊富な自然（マリン＆アウトドアスポーツ）と食資源（柑橘・海の幸） ●レンタサイクルの運営	弱み（Weaknesses） ・自地域で改善を必要とする弱みは何か？ ●域内公共２次交通 ●観光消費額の伸び悩み ●魅力ある宿泊施設の不足 ●食のＰＲ不足 ●多様な食文化への対応（ビーガン等） ●インバウンド対応可能な飲食店の不足 ●時期による観光入込の多少 ●エリア全体の一貫したサービス提供・マーケティング
外部環境	機会（Opportunity） ・自地域にとって追い風となる要素は何か？ ●広域観光周遊ルート（観光庁指定）の「せとうち・海の道」の重点エリア ●国をはじめとするVJによる外国人観光客の増加 ●ＪＲ西日本・豪華寝台列車「瑞風」の尾道駅立ち寄りによるブランドアップ ●テレビ・雑誌・映画等による露出が多い ●FIT化による来訪エリアの多様化 ●第１次ナショナルサイクルルートの指定	脅威（Threat） ・自地域にとって逆風となる要素は何か？ ●国内サイクリング振興地域の存在 ●他の観光地との競争激化 ●人口減少による国内旅行者減 ●コロナのようなパンデミックの発生

※上記に加え、ＰＥＳＴ分析等の他のマーケティング分析手法を用いて分析を行っている場合は、その内容を記入（様式自由）。

（３）ターゲット

○第１ターゲット層 ※ターゲット層については、地域だけでなく、国・地域・世代・誘客のテーマ等の顧客の属性による設定が考えられる。 首都圏・関西圏の３０代～５０代の女性層、ファミリー層、シニア層
○選定の理由 ※４．戦略（１）・（２）の分析を踏まえたターゲット層の設定であることを説明すること。 調査では非来訪者・非サイクリストを呼び込めていないことが課題となっており、今後サイクリングと関連付けながら当該ターゲットに向けて、訴求する観光コンテンツや交流機会の増加等により、観光消費を増加させる必要がある ○取組方針 令和６年度実施の観光魅力度調査のデータでは、しまなみ海道でのサイクリング経験について、現状は、若年男性が多い。一方で、今後の意向に関しては、サイクリングしたいと思う割合は、女性でも５割以上ぢあった。また、全体的に「観光両立型」が多く、女性を中心に「移動利用型」の需要も比較的高かった。しまなみ海道で、サイクリング以外に楽しみたいことは、「グルメ」が最多であった。アンケート調査などの分析を参考に、ターゲット層に強力に訴求するサイクリングと連携した食・歴史・文化・アウトドアスポーツなどを組み合わせたコンテンツの磨き上げと情報発信の強化を図るなど、サイクリング以外のしまなみ海道の有する資源を活用しながら、滞在時間の延長、リピーターの増加へ繋げるプロモーションを継続、展開する。また、これまでの若年女性に若年男性を加えてアプローチを行うことで、若年男女の来訪者増を目指すのと、将来のファミリー層に向けての布石を打つ。
○ターゲット層 タイ・シンガポール・インドネシア等アジアを中心とした外国人観光客
○選定の理由 しまなみ海道のキラーコンテンツであるサイクリングにも近年関心が高く、来訪者数も顕著な伸びを見せており、今後の市場拡大も見込める。 ○取組方針 　サイクリング観光客データ分析としてレンタサイクルの外国人利用者の動向データでは、近年、タイが増加傾向にあり、今後の増加が見込めることから引き続きバンコク日本博への出展など積極的にアプローチを行う。
○ターゲット層 欧米豪の外国人観光客
○選定の理由 サイクリングへの興味、また、日本の歴史・文化、自然への関心の高い層が多く、当地域への来訪も安定している。 ○取組方針 欧米豪はサイクリング愛好者も多いことから、今後の増加が見込めるため、積極的かつ効果的なプロモーションツールによる情報発信を展開する。また、多くの欧米人が来訪している広島からの誘客も併せて展開していく。

（４）観光地域づくりのコンセプト

①コンセプト	※他地域と明確に区別できる特徴・価値等を来訪者に伝える表現を簡潔に設定すること。 “しまなみブランド”の確立 ～世界への情報発信、ブランド力向上～

②コンセプトの考え方	※地域が目指すべき姿を明確にし、そのために地域ならではの産業、伝統、食、住、風習等やそこから導き出される区域の特徴（強み、価値）を、①コンセプトにどのように反映させているかについて他地域との差別化も踏まえて記入すること。 ※（１）～（３）のデータ分析の内容を踏まえて作成したコンセプトであることを説明すること。 ・世界に誇れる多島美 瀬戸内の島々が織り成す美しい景色を世界に発信し、地域特性を前面に打ち出した「滞在型観光」へのイメージを創出することにより、外国人観光客の誘致にも対応できる国際競争力のある観光地形成を図る。 ・世界一のサイクリングロード しまなみ海道は、島と長大橋が連続する世界的にもユニークなサイクリングのポテンシャルを有する地域であり、国内外の観光客が気軽にアプローチできる環境整備を図る。 ・しまなみ人とのふれあい しまなみ海道周辺に生きる人々とのふれあいを通じて、しまなみの“食”を含めた資源に観光客が興味をもち、また好奇心を満たすことにより、リピーター「しまなみファン」を生み出す。 ・ＣからＤへの進化 Ｃ（COOL JAPAN）からＤ（DETAIL JAPAN）へ、国内都市部の人にも、海外からのお客様にも日本の重要な細部であるしまなみ海道に触れてもらい、しまなみ海道の魅力を拡散促進していく。

５．関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有 ※頻度が分かるよう記入すること。	※戦略の共有方法について記入すること 前身の瀬戸内しまなみ海道振興協議会会員のみならず、外部を含めＤＭＯの目的に賛同する企業、団体を会員とし、日々、会員等の多様な意見を聴取し、合意形成の醸成とＤＭＯの事業内容に反映している。行政機関とも情報交換共有の場として、「３市町調整会議」を年３回程度開催。 また、ＤＭＯを中心として、地域の関連事業者を集めてコミュニケーションの場を設けるとともに、年に２回程度、会員をはじめ、地域住民も含めた一般参加型の事業発表会・ビジネスセッションを開催。
観光客に提供するサービスについて、維持･向上・評価する仕組みや体制の構築	地域産業や地域企業と連携した商品開発を目指すとともに、既存商品のブラッシュアップをする仕組みを構築していく。しまなみ海道・ゆめしま海道エリアでは、ターゲット層に刺さるテイストのお土産が不足していることから、SHIMANAMIBLUE の GOODS を開発することとなり、第一弾として当地 T シャツを制作。2019 年 3 月には、オリジナルデザインのサコッシュ、ポーチ、タオルハンカチを制作。地域に受け入れられてもらえる商品開発を進めている。現在は、しまなみ・ゆめしま海道沿線 16 店舗での取り扱い中。

	また、しまなみ海道をアピールできる「食」の商品開発のため、日本遺産“村上海賊”に因んだ「海賊むすび」など地域関係者と連携し、地域での販路拡大、ブランド化を目指している。
観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信･プロモーション	しまなみ全体のワンストップ窓口の設置、新規及び既存のＳＮＳの活用も含めた効果的なプロモーションのブラッシュアップを図るため、しまなみジャパン公式ＨＰに豊富な地域コンテンツ（宿泊、体験メニューなど）を集約紹介している。

※各取組について、出来る限り具体的に記入すること。

様式１

６．ＫＰＩ（実績・目標）

※戦略や個別の取組を定期的に確認・改善するため、少なくとも今後３年間における明確な数値目標を記入すること。
※既に指標となりうる数値目標を設定している場合には、最大で過去３年間の実績も記入すること。

（１）必須ＫＰＩ

指標項目		2022（Ｒ４）年度	2023（Ｒ５）年度	2024（Ｒ６）年度	2025（Ｒ７）年度	2026（Ｒ８）年度	2027（Ｒ９）年度
●旅行消費額（億円）	目標	253	312	410	444	448	452
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実績	309	406	440			
		（ ）	（ ）	（ ）			
●延べ宿泊者数（千人）	目標	704	815	1053	1095	1106	1117
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実績	807	1042	1084			
		（ ）	（ ）	（ ）			
●来訪者満足度（%）	目標	86	75	76	78	79	80
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実績	74	75	77			
		（ ）	（ ）	（ ）			
●リピーター率（%）	目標	54	53	50	52	53	54
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実績	52	49	51			
		（ ）	（ ）	（ ）			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】
※ＫＰＩとして設定する項目や年次及び目標数値に関して、その検討のプロセスや考え方を項目ごとに出来る限り具体的に記入すること。
広島県観光入込客統計及び愛媛県観光入込客統計のデータを参考に、また、来訪者満足度、リピーター率に関するデータを調査し、持続性のある観光地経営のための定性的な効果も含めて明らかにし把握するため、今治市・尾道市・上島町「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の考え方も踏まえ、（一社）しまなみジャパンの事業戦略に基づくエリアの目標値として設定。会員を含めた事業報告会・ビジネスセッション（年２回程度）等による地域関係者との連携を図りながら、状況報告、調査結果、分析結果の情報を共有し、関係市町内部機関（外部有識者含む）での検証も参考に、理事会（年２回以上）、構成市町からの意見を通して戦略や事業計画等の見直しを図る。

・・・

国内市場の縮小傾向が予想５されるなどマイナス要因が想定されるものの、滞在型観光の推進、インバウンド誘致などを取り組み、令和６年実績に＋１%増を目指す。

・・・

指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】
※ＫＰＩとして設定する項目や年次及び目標数値に関して、その検討のプロセスや考え方を項目ごとに出来る限り具体的に記入すること。
国内市場の縮小傾向が予想されるなどマイナス要因が想定される中、持続性のある観光地経営のためには、インバウンドによる誘致も積極的に行い平準化を目指す必要がある。

【設定にあたっての考え方】
●WEB サイトのアクセス数
令和６年度の数値をベースに令和 7 年度にアクセス数 2 万 3 千を目標に設定
・・・

様式１

2025（Ｒ７） 年度	792,742,354 円	【市町村からの補助金】 15,313,000 円 【収益事業】 レンタサイクル事業 455,000,000 円 【会費等】 30,500,000 円 【補助金等】 70,760,000 円 【繰越金】 221,169,354 円
2026（Ｒ８） 年度	678,951,954 円	市町村からの補助金】 0 円 【収益事業】 レンタサイクル事業 446,600,000 円 【会費等】 30,600,000 円 【繰越金】 201,751,954 円
2027（Ｒ９） 年度	646,401,954 円	【市町村からの補助金】 0 円 【収益事業】 レンタサイクル事業 446,600,000 円 【会費等】 30,600,000 円 【繰越金】 169,201,954 円

（２）支出

年（年度）	総支出	内訳（具体的に記入すること）
2022（Ｒ４） 年度	294,073,920 円	【一般管理費】 46,756,755 円 【情報発信・プロモーション】 32,846,067 円 【マーケティング（市場調査、ブランド戦略等）】 3,612,097 円 【レンタサイクル事業経費】 210,859,001 円
2023（Ｒ５） 年度	331,039,796 円	【一般管理費】 35,337,660 円 【情報発信・プロモーション】 36,027,288 円 【レンタサイクル事業経費】 259,674,848 円
2024（Ｒ６） 年度	411,696,710 円	【一般管理費】 34,877,924 円 【情報発信・プロモーション】 44,731,812 円 【レンタサイクル事業経費】 332,086,974 円
2025（Ｒ７） 年度	590,990,000 円	【一般管理費】 49,050,000 円 【情報発信・プロモーション】 48,770,000 円 【レンタサイクル事業経費】 493,170,000 円
2026（Ｒ８） 年度	509,750,000 円	【一般管理費】 49,050,000 円 【情報発信・プロモーション】 48,770,000 円 【レンタサイクル事業経費】 411,930,000 円
2027（Ｒ９） 年度	509,750,000 円	【一般管理費】 49,050,000 円 【情報発信・プロモーション】 48,770,000 円 【レンタサイクル事業経費】 411,930,000 円

（３）自律的･継続的な活動に向けた運営資金確保の取組･方針

区域を構成する地方公共団体における宿泊税の導入、着地型旅行商品の造成･販売等の取組･方針を記載

尾道市・今治市・上島町からの負担金及び、レンタサイクル事業の収益を収入とし、レンタサイクル事業は料金改定、事業拡大による収益の増大を段階的に実施していくことで収益力を高め「稼ぐ力」を高める組織とする。中長期的には、ＤＭＯの事業（スポーツツーリズム、着地型旅行商品開発、体

験メニュー造成、オリジナルグッズの販売など）から派生する収益、観光関連事業者の負担（受益者負担）の仕組みも取り入れていく方針である。

８．観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

※設定対象区域の都道府県及び市町村が、本法人を当該都道府県・市町村における観光地域づくり法人として認める旨を含む意見を記入すること。
尾道市、今治市、上島町は、一般社団法人しまなみジャパンを瀬戸内しまなみ海道地域における地域連携ＤＭＯとして登録したいので、一般社団法人しまなみジャパンとともに申請します。

９．マネジメント・マーケティング対象区域が他の地域連携ＤＭＯ（県単位以外）や地域ＤＭＯと重複する場合の役割分担について（※重複しない場合は記載不要）

【他の地域連携ＤＭＯや地域ＤＭＯとの間で、重複区域に関する連携や役割分担等について協議を行った（行っている）か】

【区域が重複する背景】

【重複区域における、それぞれの DMO の役割分担について】
※重複する活動がないか、第三者から見た際に合理的と捉えられる役割分担になっているか等を踏まえて記入すること。

【前述の役割分担等によって、効率的、効果的な活動の遂行が期待できるか】

１０．記入担当者連絡先

担当者氏名	山本　秀明
担当部署名（役職）	一般社団法人しまなみジャパン　事務局長
郵便番号	７９４－１４０２
所在地	愛媛県今治市上浦町井口９１８０番地２
電話番号（直通）	０８９７－７２－８１００
ＦＡＸ番号	０８９７－７２－８１１１
Ｅ－ｍａｉｌ	yamamoto.hideaki@shimanami-cycle.or.jp

様式１

１１．関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県･市町村名	尾道市
担当者氏名	岩田　勉
担当部署名（役職）	観光課課長補佐
郵便番号	722-8501
所在地	広島県尾道市久保一丁目 15 番 1 号
電話番号（直通）	0848-38-9184
ＦＡＸ番号	0848-37-2377
Ｅ－ｍａｉｌ	kanko@city.onomichi.hiroshima.jp

都道府県･市町村名	今治市
担当者氏名	福山　佳範
担当部署名（役職）	観光課観光交流係長
郵便番号	794-8511
所在地	愛媛県今治市別宮町一丁目 4 番地 1
電話番号（直通）	0898-36-1541
ＦＡＸ番号	0898-25-2961
Ｅ－ｍａｉｌ	kankou@imabari-city.jp

都道府県･市町村名	今治市
担当者氏名	福山　秀典
担当部署名（役職）	サイクルシティ推進課サイクルツーリズム係長
郵便番号	794-8511
所在地	愛媛県今治市別宮町一丁目 4 番地 1
電話番号（直通）	0898-36-1547
ＦＡＸ番号	0898-25-2961
Ｅ－ｍａｉｌ	cyclecity@imabari-city.jp

都道府県･市町村名	上島町
担当者氏名	濱田　原輝
担当部署名（役職）	観光戦略課サイクルツーリズム係主査
郵便番号	794-2506
所在地	愛媛県越智郡上島町弓削下弓削 1037-2
電話番号（直通）	0897-77-2252
ＦＡＸ番号	0897-77-2292
Ｅ－ｍａｉｌ	kanko-senryaku@town.kamijima.ehime.jp

法人名:一般社団法人 しまなみジャパン
登録区分名:(登録)地域連携DMO

“しまなみブランド”の確立 ～世界への情報発信、ブランド力向上～

様式2

基礎情報

【区域】 広島県尾道市、愛媛県今治市、上島町
【設立日】 平成29年3月22日
【登録日】 平成30年3月30日
【設立経緯】その他
【代表者】 代表理事(尾道市長)平谷 祐宏
【マーケティング責任者(CMO)】 専務理事 坂本 大蔵
【財務責任者(CFO)】 専務理事 坂本 大蔵
【職員数】 12人(常勤12人(正職員8人、出向等4人))
【主な収入】
収益事業 444百万円、市町負担金30百万円(2024年度決算)
【総支出】
収益事業 332百万円、管理費35百万円、その他45百万円
(2024年度決算)
【連携する主な事業者】
尾道市・今治市・上島町
地域商工観光関連企業及び団体(47団体)

KPI(実績・目標)

記入日: 令和7年7月31日

※( )内は外国人に関するもの。

項目		2022(R4)年	2023(R5)年	2024(R6)年	2025(R7)年	2026(R8)年	2027(R9)年
旅行消費額(億円)	目標	253 ( )	312 ( )	410 ( )	444 ( )	448 ( )	452 ( )
	実績	309 ( )	406 ( )	440 ( )	—	—	—
延べ宿泊者数(千人)	目標	704 ( )	815 ( )	1053 ( )	1095 ( )	1106 ( )	1117 ( )
	実績	807 ( )	1042 ( )	1084 ( )	—	—	—
来訪者満足度(%)	目標	86 ( )	75 ( )	76 ( )	78 ( )	79 ( )	80 ( )
	実績	74 ( )	75 ( )	77 ( )	—	—	—
リピーター率(%)	目標	54 ( )	53 ( )	50 ( )	52 ( )	53 ( )	54 ( )
	実績	52 ( )	49 ( )	51 ( )	—	—	—

戦略

【主なターゲット】
1. 首都圏・関西圏の30代～50代の女性層、ファミリー層、シニア層
2. タイ・シンガポール・インドネシア等アジアを中心とした外国人観光客
3. 欧米豪の外国人観光客
【ターゲットの誘客に向けた取組方針】
1. アンケート調査などの分析を参考にターゲット層に協力に訴求するサイクリングと連携した食・歴史・文化・アウトドアスポーツなどを組合わせたコンテンツの磨き上げと情報発信の強化を図る。
2. サイクリング観光客データ分析としてレンタサイクルの外国人利用者の動向データでは、近年タイが増加傾向にあり、今後の増加が見込めることからバンコク日本博への出展など積極的にアプローチを行う。
3. 欧米豪はサイクリング愛好家も多いことから、今後の増加が見込まれるため、積極的かつ効果的なプロモーションツールによる情報発信を展開する。
【観光地域づくりのコンセプト】
‘’しまなみブランド’の確立
～世界への情報発信、ブランド力向上～

具体的な取組

【情報発信・プロモーション】
・HP等情報発信事業、サイクリングPR事業
・観光宣伝事業(観光展への出展等)
・海外誘客促進事業(台湾との交流事業)
【観光資源の磨き上げ】
・滞在型観光促進事業
・地域コンテンツ販売促進事業
・村上海賊にちなんだ地域コンテンツ開発
【受入環境の整備】
・HP、観光パンフレットの英語対応化実施
・サイクリングマップの多言語化実施
・レンタサイクル事業のweb予約化及びキャッシュレス化
・外国人によるインバウンド向けの情報マップ、サイクリング安全周知動画の配信等

レンタサイクリング

海賊むすび